

研究課題名：	リアルワールドデータを用いた産科出血への最適な I V R 治療法確立に関する研究
研究機関名 所属（診療科等）：	岐阜大学医学部附属病院 放射線部 准教授 川田 紘資
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 救急科 医長 人見 秀
研究期間：	研究対象者とする期間 2015 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日 総研究期間 2026 年 3 月 17 日（当院における承認日）から 2028 年 3 月 31 日まで
研究の目的と意義：	本研究は産科出血に対する I V R 治療が妊産婦の救命、子宮温存にどの程度寄与しているかを明らかにすることを主な目的としています。本邦における産科出血に対する現状として、患者搬送や治療法に地域間格差があること、少数ですがここ数年妊産婦死亡数に増加傾向が見られ、現状の把握とそれに基づく問題点の同定・改善が必要となっています。これまでに I V R 治療が実施された多数例のリアルワールドデータを解析し、現状の把握・問題点の抽出を行うことによりエビデンスを明らかにし、その結果を踏まえて新たな治療プロトコルを確立することを目的としています。
研究内容：	上記研究対象者とする期間において、分娩後 24 時間以内に産褥出血に対して I V R による止血術を行った患者様を対象に、以下の項目に関するデータを診療録から収集します。介入や侵襲は伴いません。 【塞栓術開始前の検査・評価項目】 患者年齢、妊娠の特徴、過去の出産時の経過、出産方法、出産補助手技の有無、産科出血の原因、事前治療、出産からの時間、搬送方法、採血結果、Vital sign、出血量、各種輸血量、DIC の有無、塞栓術の適応判断 【塞栓術に関する検査・評価項目】 Vital sign、採血結果、血管造影所見、塞栓血管、塞栓物質、手技時間、標的血管塞栓成功の有無 【塞栓術後に関する検査・評価項目】 入院期間、採血結果、再塞栓術施行の有無とその理由、最終的な出血量、子宮摘出の有無とその理由、追加処置の有無、研究期間中に判明している再妊娠の有無、死亡の有無と原因

個人情報の取り扱い	個人が特定されないよう加工した上で、岐阜大学・先端医療・臨床研究推進センターのデータサイエンス部門に設置されたEDCシステムに登録します。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 救急科 氏名：人見 秀 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111